



2026年5月14日

各位

会社名 株式会社 Sapet
代表者名 代表取締役社長 築山 英治
(コード番号: 269A 東証グロース)
問合せ先 取締役 佐藤 琢治
経営管理本部長
(TEL. 03-6822-3263)

業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ、2025年11月13日に公表した2026年9月期（2025年10月1日～2026年9月30日）の業績予想を上方修正することとしましたので、お知らせいたします。

1. 2026年9月期 通期業績予想数値の修正（2025年10月1日～2026年9月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想（A）	百万円 1,400	百万円 82	百万円 83	百万円 82	円 銭 51.99
今回修正予想（B）	1,700	120	121	132	82.75
増減額（B-A）	300	38	38	50	—
増減率（％）	21.4	46.3	45.8	61.0	—
（ご参考）前期実績 （2025年9月期）	996	55	45	70	45.25
前期増減額	704	65	76	62	37.50
前期増減率（％）	70.7	118.2	168.9	88.6	82.9

2. 修正の理由

（1）売上高及び各段階利益の上方修正

売上高につきましては、「AIソリューション」が想定を上回り好調に推移したことに加え、「AIプロダクト」も堅調に推移した結果、前回公表予想を上回る見込みとなりました。そのため、「AIソリューション」の業績予想を前回発表予想の980百万円から1,280万円に上方修正し、全社としても同額を上方修正いたします。

営業利益、経常利益、および当期純利益につきましても、上記のとおり売上が好調に推移しており、第2四半期累計期間（以下、「上半期」）において102百万円と公表した業績予想を上回って推移した結果、上方修正いたします。

(2) 下半期の成長投資と利益見通しの考え方

修正後の業績予想数値において、上半期の営業利益 102 百万円に対し、下半期は 18 百万円の見込みとなります。

当社は、一定の利益を確保しつつも中長期的な成長投資を優先する方針であり、上半期の利益を原資として、下半期に主に以下の投資を積極的に実施することといたしました。

① 人材獲得の加速およびオフィス拡張の前倒し

当社の中長期的な成長には優秀な人材の獲得が欠かせません。現在、AI ソリューションのさらなる拡大に向け、コンサルタント、プロジェクトマネージャー、およびアルゴリズムエンジニアの採用を重点的に強化しており、その他の成長に必要なポジションについても順次採用を進めております。

足元では採用活動が順調に推移しており、当初の想定を上回るペースでの人員増加が見込まれることから、採用関連費用および人件費を追加投入し、人材獲得をさらに加速させてまいります。

また、人員増加の加速に伴い現在のオフィスが手狭になりつつあることから、オフィス拡張を当初の計画より前倒して実施することを決定いたしました。当社では、柔軟なハイブリッドワークを前提としつつも、対面での密なコミュニケーションも重要視しており、オフィス環境の拡充により、採用活動における競合に対する優位性も確保してまいります。

② 研究開発投資

AI ソリューションにおいては、AI エージェント開発を強力に推進しております。2025 年 6 月の α 版リリース以降、2026 年 1 月には β 版をリリースするなど、継続的な機能強化を図っております。

AI エージェント市場は、2030 年に全世界で 471 億米ドル規模（2024 年からの CAGR は 44.8%）に成長すると予測されており（※1）、当社はこの高い成長機会を確実に取り込むべく、基盤技術の研究開発に重点的な投資を継続いたします。また、その周辺領域についても積極的に開発を進める方針であり、2026 年 3 月には「リアルタイム商談サポート」をリリースいたしました。

このように、中長期的な成長の柱となる AI エージェント領域の競争力を高めるため、最先端の技術開発にリソースを集中投下してまいります。

※ MarketsandMarkets 社「AI Agents Market by Agent Role (Productivity & Personal Assistants, Sales, Marketing, Customer Service, Code Generation), Agent Systems (Single Agent, Multi Agent), Product Type (Ready to Deploy Agents, Build Your Own Agents) - Global Forecast to 2030」によれば、日本を含む全世界で 2024 年の 51 億米ドルから 2030 年には 471 億米ドルに成長し、2024 年～2030 年の CAGR は 44.8%と予測されています。

③ セキュリティ体制の強化

AI ソリューションにおいて大手顧客との取引が拡大しており、エンタープライズ水準のより高度なセキュリティ要件への対応が求められております。また、社会全体で情報セキュリティへの関心が高まる中、信頼性の高い AI サービスを提供し続けることは、当社の競争優位性を構築する上で不可欠な要素であると認識しております。

当社ではこれまで情報セキュリティに関する事故は発生しておりませんが、今後も安心・安全なサービスを継続的に提供するため、情報セキュリティマネジメントシステムのさらなる高度化や、インフラ基盤の堅牢化に向けた戦略的な投資を実施いたします。

(3) 当期純利益および法人税等調整額について

当期純利益につきましても、各段階利益の上方修正に伴い引き上げております。加えて、上半期における利益実績および今後の業績見通し等を踏まえて繰延税金資産の回収可能性を検討した結果、第 2 四半期において法人税等調整額（益）を 13 百万円計上しております。これらにより、当期純利益の修正幅は他の段階利益と比較して大きくなる見通しです。

なお、業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。

以上